



日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

## 2012年度版日野市環境白書が発刊されました

日野市では、環境基本条例に基づいて環境に関する年次報告書として「日野市環境白書」を毎年発刊しています。「環境白書」は日野市環境基本計画の柱である5つの分野、「みどり」「水」「ごみ」「地球温暖化」「生活環境」のそれぞれの分野ごとに環境指標を設定し、毎年の移り変わりを図表などで示しています。また、市民の皆さんの協力をいただいて、計画の進行状況の評価・確認を行っているほか、市の機関、市内の市民団体・学校・事業者などの環境への取り組みを紹介しています。

「2012年度版日野市環境白書」では、市が2012年度に実施した環境問題に対する取り組みのトピックスとして、市の地球温暖化対策「ふだん着でCO2をへらそう」の活動、日野市・八王子市浅川流域連携事業・子どもの交流事業「浅川であそぼう」の開催、「日野市立七ツ塚ファーマーズセンター」のオープンなどの3つを紹介しています。また、上記5分野の環境指標をみると、全部で49項目ある指標のうち、前年より「良くなったもの」が27項目で55%強と多くなっていますが、「悪くなったもの」「どちらともいえないもの」がそれぞれ11項目、22%強となっています。まだまだ改善の努力が必要です。「白書」はこのような市の環境に関する多数の情報を集約した内容となっていますので、是非ご覧ください。

「白書」の内容は、市のホームページに掲載しているほか、市立図書館などで閲覧できますが、入手を希望される方は環境情報センターまでお問い合わせください。



エコマ、エコアラ

## 日野市環境フェアや日野市大産業まつりで環境情報センターかわせみ館ブースを開設 多くの市民の方が訪れました

11月17日、「ふだん着でCO2をへらそう 日野市環境フェア」が多摩動物公園で開催されました。今回のフェアは日野市市制施行50周年と多摩動物公園開園55周年を記念したものです。本会場となったウオッチングセンターでは緑のカーテン実践者の方々の表彰が行われました。そのほか、園内の特別ツアーや自然体験プログラム、生ゴミ堆肥化の紹介、大道芸パフォーマンスなど多彩な催しが展開されました。環境情報センターでは、昆虫館で「日野の貴重植物・昆虫・水生生物標本&写真展」を主催、約1900人の方が訪れました。また、あわせて多摩動物公園や市内の緑地などで集めた「木の実の展示」や、エコマ・エコアラシールを賞品としたサワラの木の年輪に日野市の歴史を重ねた「年輪クイズ」、職員手作りの「ピコ水力発電機」の紹介などを実施、エコへの関心を高めるPRにもつながりました。なお、「標本&写真展」は11月14日～26日の約2週間にわたって開催、約9000人の方が見学されました。

また、11月3日、4日の両日に市民の森ふれあいホール周辺で開催された「第47回日野市産業まつり」では、環境情報センター主催で「木の実の名前あてクイズ」を実施、親子連れの方など300人を超える市民が挑戦、子供たちは賞品のエコマ・エコアラシールをもらって嬉しそうにしていました。

緑のトラスト募金にも200名近い方々のご協力をいただきました。

11月は2つの大きなイベントに参加し、多くの市民の方とコンタクトできたことで、日野市のエコへの取り組みを紹介するとともに、環境情報センターかわせみ館のPRにもなりました。



産業まつり かわせみ館のブース



環境フェア会場

## 環境保全に取り組んでいる団体紹介 10

### ひのどんぐりクラブ(日野市環境学習サポートクラブ)

ひのどんぐりクラブは、環境情報センターと協力し、子どもたちの環境学習を支援することを目的として結成された日野市民のグループです。小中学校の環境学習や自然体験などの野外授業を私たちがお手伝いすることで、子どもたちに自然の素晴らしさを実感してもらう機会が増え、環境を大切に作る気持ちが育ってもらえればと活動しています。

サポート内容は、

- ・自然観察や体験などの付き添いやお手伝い…魚とり・昆虫とり・野鳥観察・植物観察など
- ・自然物を利用した工作…木の実や葉、枝などを使った絵や工作、染め物など
- ・映像資料による学習…日野の生き物や自然風景の映像を上映し解説
- ・特定テーマに関する他団体や人材の紹介…水やごみの問題・地球温暖化・日野の植生など

などです。その他、この分野の困ったこと、材料や道具、実施場所など、ご相談にも応じています。

2012年度の学校への支援回数は93回、児童等の参加延べ人数は約7,700人でした。

また、河川整備基金からの助成を受け環境学習のためのDVD「ぎょぎょ！むしもとりもみんなともだち」を作成して、市内の小中学校、幼稚園に配布しました。Webサイトに「生きものマップ」を作成し、小学校での野外活動の成果を入力し市内の生きもの情報の蓄積も行っています。

今年度(2013年)の支援状況は12月までで79回、参加延べ人数は約6,000人になっています。

メンバー数：18名

代表者：有馬佳代子

活動場所：日野市内各小・中学校の教室や校庭、学校近くの公園や河川

連絡先：日野市環境情報センター内 杉浦 (TEL・FAX 042-581-1164)

## ★日野の植物との触れ合いとその保全★ (その1)

南平在住の植物研究家播本正常さんは、長年日野の植物について調査を行われてきました。かわせみ館ニュースでは4回のシリーズで、日野の貴重種の現状と保全についてご紹介します。この10号では、日野の自然を守る会機関紙「日野の自然 第480号 2012年7月1日」に播本さんが寄稿された記事により、日野の植物の現状をご紹介します。

### 日野の植物、市内から消えた植物たち

播本 正常

かつて日野市内に自生していたものが、何らかの事情により絶滅したと思われるので、その種を以下に記載しておきたい。

#### 1. 黒川清流公園のヌマガヤ

昭和48年発行の「日野の植物」に記述したヌマガヤが、昭和48年7月5日、東京大学名誉教授前川文夫先生から、日野市に同種が自生していることは素晴らしいことだとのお手紙をいただいた。その後、日照の関係か？絶滅してしまった。

#### 2. 百草のヒメナミキ

故右田実先輩が、生前、「広報ひの」昭和61年7月15日号で、この三多摩に同種が自生していることは特筆されるべきことだと記した。何故消えたか不明だが、湿地帯の条件が崩れたことが一原因だと思われる。

#### 3. 多摩川のカワラノギク

平成10年頃、植物仲間の成島忠之氏が多摩川で採集したカワラノギクを南平丘陵公園に寄贈された。その種子を会の協力員吉村征子氏、最終的には会の協力員阿部好治氏が栽培された。それを私が一鉢いただき、さらにそれが3本に枝分かれし、その1本を標本に、他の2本から種子を取った。その後、日野市から姿を消したが、杉浦忠機氏によると、平成14年頃絶滅したとのことである。

#### 4. その他

4番目の絶滅種になると思われたものが、東光寺段丘崖のワダソウである。幸いなことに環境情報センター加藤氏が5株を発見した。しかし、生育環境が悪く、日照が不十分で、花を咲かせる勢いがなく、今後定期的な見回りが必要であると痛感した。

私の人生で、豊かな日野市の野生植物に接触できたこと、日野の自然を守る会で活動できたことに感謝している。また、市関係者の今後の一層のご指導、ご援助をお願いしたいと考えている。

日野の自然 第480号 2012年7月1日より (抜粋)



## ■第6期市民環境大学に参加しませんか

市民環境大学は、地球規模から身の回りの環境まで幅広く考え正しく知ること、問題解決のためにみんなでできることを実践することを目的とした講座です。2014年度で第6期目となります。講座は5月から7月の前期と、10月から12月の後期に分けて合計20回開かれます。期間中、毎週木曜日の午前10時から12時まで開校です。前期・後期を通して出席された方には修了書をお渡しします。ちなみに、第1期～5期の修了者の合計は67人です。修了者の方々を中心にOB会も結成され活発に活動しています。

講座の内容は身の回りの環境の基礎から大学で行っているような専門的なものまで含んでいますが、いろいろな事例や最近の話題などを取り上げ、わかりやすく説明していきます。

環境問題に少しでも関心のある方々が本講座に参加されて理解を深め、問題解決のための実践活動に結びつくようなきっかけをつくれることを期待しています。どうぞお気軽ご参加ください！

### <募集要項>

開催期間：前期 平成26年5月～7月（全10回）

後期 平成26年9月～12月（全10回）

時 間：毎週木曜日 午前10時～12時

場 所：日野市環境情報センター2F会議室

対 象：18才以上の日野市在住者または在勤者

定 員：20名（先着順）

受講料：無料

申込締切：平成26年4月19日（土）

### <主な学習内容>（予定）

- ・地球環境問題とは
- ・地球温暖化の影響と対策
- ・ヒートアイランド現象と身近な対策
- ・水循環と人間活動の影響
- ・日野市の川・用水・湧水
- ・水質汚染と対策
- ・雨の役割
- ・酸性雨と生態系への影響と対策
- ・オゾン層破壊の影響と対策
- ・日野市のみどり
- ・地球環境と身近な環境を考える（総括）

\*お申込みは日野市環境情報センターまで電話又はFAXをお願いします。（最終面参照）

## ■第10期雑木林ボランティア講座に参加しませんか

現在、放置されたままになっている雑木林は、わずか50年前まで私たちの暮らしにとってかけがえのない大切な場所でした。「日野市雑木林ボランティア講座」は、昔のような明るく健全な雑木林を維持管理し次世代に引き継ぐことを目的に、市民と行政の協働で平成17年にスタートしました。この講座を通して専門的な知識や技術を習得した雑木林ボランティアを育成し、新しい緑の保護団体を設立したり、既存の緑の団体に送り込もうとがんばっています。

講座は雑木林の基本的な講義から始まり、手道具・刈払い機・チェーンソーの実習など雑木林の管理ノウハウを、1年間（5月から翌年3月まで全10回）にわたり習得するものです。毎月主に第3土曜日に開催します。スタートした平成17年から24年までに講座修了者は累計で165人になっています。今年度も31人の方が講座を受けています。

是非、本講座に参加し、一緒に楽しい汗をかきながら雑木林の大切さを学んでいきましょう。

### <募集要項>

主 催：水と緑の日野・市民ネットワーク他

開催期間：平成26年5月～平成26年3月の  
毎月主に第3土曜日（全10回）

時 間：午前9時30分～午後3時  
（第1回と10回は午前中で終了）

実施会場：南平丘陵公園他

対 象：日野市在住または在勤・在学者

定 員：30名（先着順）

参加料：2,000円（保険代など）

申込締切：平成26年4月8日（火）

### <講座内容>（予定）

- 5月 開校式・講義：日野市の自然環境
- 6月 視察：緑地めぐり
- 7月 講義・実習：道具の正しい使い方
- 9月 講義：里山づくり（明治大学 倉本教授）
- 10月 講義・観察会：花の形のふしぎ、植物観察
- 11月 視察・実習：明治大学黒川農場見学、下草刈り
- 12月 実習：落ち葉かき、腐葉土作り、刈払機実習
- 1月 実習：チェーンソー実習
- 2月 実習：萌芽更新作業
- 3月 実習・修了式：椎茸ほだ木作り、修了式

\*お申込みは日野市環境情報センターまで電話又はFAXをお願いします。（最終面参照）

## ■11～12月の活動報告

### 11月16日(土) みんなの環境セミナー「秋の倉沢、百草を訪ねて」

秋晴れに恵まれ暖かく快適なハイキング日和でした。参加者は22名、府中市や立川市、多摩市から来られた方もいました。朝9時30分に百草園駅前からスタートし、アリスの丘ファームや石坂ファームなど市民農園や夏には蛍が見られる真堂が谷戸、市内で唯一の酪農家である百草ファームなどを訪ね、それぞれの場所で活動している方のお話を聞いたり、途中の山道にある植物の解説を受けたりと、楽しく充実した3時間半の散策でした。また、倉沢や百草の地区は「ひの緑のトラスト募金」の対象地域でもあり、参加者の方々にも快く募金に協力していただきました。

### 12月5日(木) みんなの環境セミナー「向島用水を訪ねる」

市民環境大学の公開講座として開催、市民環境大学の受講生やOBの方を中心に、広報「ひの」を見て応募された一般の方など21名が参加しました。向島用水の整備の経緯や、市民の憩いの場として、子供たちの環境学習の場として親しまれている「とんぼ池」の現状、復元された水車についての解説などを受けました。また、浅川のふれあい橋の下で水質の調査をしたり、向島緑地での植物観察をしました。

### 12月12日(木)～25日(水) 市役所1階市民ホールで「日野の貴重植物・水生昆虫写真展」開催

市役所1階市民ホールで約2週間にわたって、日野の緑地や浅川、多摩川の河原に生育している貴重植物と、川や用水路に棲む様々な水生昆虫の写真展を開催しました。紹介した植物はすべて絶滅危惧種です。普段、なかなか目にすることができない貴重な植物や水生昆虫の写真を、市民の方々が興味深そうに見入っていました。



## ＊＊平成26年1月～3月の行事・イベントのお知らせ＊＊

### 2月16日(日) みんなの環境セミナー「東光寺緑地の管理と樹木観察」

早春の植物が楽しめる東光寺緑地の下草刈りなどを、明星大学の学生と行います。午前10時から正午までの2時間、寒さに負けず、緑地の管理とともに早春の樹木観察を楽しみましょう。募集人数は20名、参加料は無料です。2月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

### 2月3日(月)～27日(木) 「多摩丘陵と河川敷の昆虫たち」写真展

日野市の昆虫を調べてみたら、次から次と面白い昆虫が見つかりました。多摩丘陵や日野市内の浅川や多摩川の河川敷で見つけた蝶やバッタ、タマムシなどいろいろな昆虫の迫力のある写真を展示します。珍しい昆虫たちに会えるかもしれません。ぜひ、見にきてください。

### 3月22日(土)～26日(水) かわせみ館フェア

市役所101会議室で日野市環境情報センター主催でセンターのPRイベントを開催します。木の葉を使った工作や、カブトムシの飼育などについて親子で楽しく学び遊ぶイベントや、環境保全に取り組んでいる市内の市民団体の活動を紹介するパネル展示を行います。3月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。皆様のご来場をお待ちしています。

## ★「ひの緑のトラスト」募金活動にご協力を

百草地区には貴重な雑木林が市民と行政の協働により残されており、市民による保全活動が活発に行われています。この貴重な里山の保全を進めるため「日野緑のトラスト」が設立され、募金活動を行っています。環境情報センターでは「ひの緑のトラスト」の事務局として、募金活動などを担当しています。市内の緑地保全のための募金にご協力をお願いします。詳細は環境情報センターまでお問い合わせください。



発行 日野市環境情報センター  
〒191-0011 東京都日野市日野本町1-6-3  
Tel/fax:042-581-1164  
Eメール:kankyo@m2.hinocatv.ne.jp